

デキサメタゾン製剤（経口剤及び注射剤）及びベタメタゾン製剤（経口剤、注射剤、坐剤及び経腸剤）の「使用上の注意」の改訂について

一般名 販売名	一般名	販売名（承認取得者）
	① デキサメタゾン（経口剤）（下垂体抑制試験の効能・効果を有する製剤） ② デキサメタゾン（経口剤）（下垂体抑制試験の効能・効果を有さない製剤） ③ デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤） ④ デキサメタゾンパルミチン酸エステル ⑤ ベタメタゾン（経口剤） ⑥ ベタメタゾン（坐剤） ⑦ ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤） ⑧ ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム（注腸剤） ⑨ ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム ⑩ ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	① デカドロン錠 0.5mg、同錠 4mg、同エリキシル 0.01%（日医工株式会社）等 ② レナデックス錠 2mg、同錠 4mg（ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社） ③ デカドロン注射液 1.65mg、同注射液 3.3mg、同注射液 6.6mg（サンドファーマ株式会社）等 ④ リメタゾン静注 2.5mg（田辺三菱製薬株式会社） ⑤ リンデロン錠 0.5mg、同散 0.1%、同シロップ 0.01%（シオノギファーマ株式会社）等 ⑥ リンデロン坐剤 0.5mg、同坐剤 1.0mg（シオノギファーマ株式会社） ⑦ リンデロン注 2mg（0.4%）、同注 4mg（0.4%）、同注 20mg（0.4%）、同注 20mg（2%）、同注 100mg（2%）（シオノギファーマ株式会社）等 ⑧ ステロネマ注腸 3mg、同注腸 1.5mg（日医工株式会社） ⑨ リンデロン懸濁注（シオノギファーマ株式会社） ⑩ セレスタミン配合錠、同配合シロップ（高田製薬株式会社）等
効能・効果	別紙参照	
改訂の概要	1. 「効能又は効果に関連する注意」又は「効能・効果に関連する使用上の注意」の項に、下垂体抑制試験の実施に先立ち褐色細	

	<p>胞腫又はパラガングリオーマの合併の有無を確認し、合併がある場合には、褐色細胞腫又はパラガングリオーマの治療を優先する旨を追記する（①及び⑤）。</p> <p>2. 「重要な基本的注意」の項に、本剤投与後に著明な血圧上昇等が認められた場合は、褐色細胞腫クリーゼの発現を考慮した上で適切な処置を行う旨を追記する（①～⑩共通）。</p> <p>3. 「特定の背景を有する患者に関する注意」又は「慎重投与」の項に、「褐色細胞腫又はパラガングリオーマのある患者及びその疑いのある患者」を追記する（①～⑩共通）。</p>
<p>改訂の理由及び調査の結果</p>	<p>デキサメタゾン（経口剤及び注射剤）又はベタメタゾン（注射剤）の国内及び海外症例を評価し、褐色細胞腫クリーゼとの因果関係が否定できない国内及び海外症例が複数確認された。専門委員の意見も聴取した結果、使用上の注意の「重要な基本的注意」の項及び「特定の背景を有する患者に関する注意」又は「慎重投与」の項を改訂することが適切と判断した。ベタメタゾン経口剤、坐剤及び注腸剤については、薬剤投与後に褐色細胞腫クリーゼを認めた症例は確認できていないが、専門委員の意見も聴取した結果、ベタメタゾン（注射剤）と同内容に改訂することが適切と判断した。</p> <p>また、デキサメタゾン製剤及びベタメタゾン製剤のうち、下垂体抑制試験の効能・効果を有する製剤においては、専門委員の意見も聴取した結果、使用上の注意の「効能又は効果に関連する注意」又は「効能・効果に関連する使用上の注意」の項に下垂体抑制試験に関連する注意内容を追記することが適切と判断した。</p> <p>なお評価症例のうち、褐色細胞腫クリーゼ関連症例の直近3年度の集積状況は以下のとおり。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内1例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例0例）【死亡0例】 ・海外1例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例0例）【死亡0例】 <p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内1例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例1例）【死亡0例】 ・海外1例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例1例）【死亡0例】 <p>②～⑥、⑧～⑩</p>

	・国内及び海外0例
--	-----------

本調査に関する専門協議の専門委員は、本品目についての専門委員からの申し出等に基づき、「医薬品医療機器総合機構における専門協議等の実施に関する達」（平成20年12月25日付20達第8号）の規定により、指名した。

別紙

No.	一般名	販売名	効能・効果
①	デキサメタゾン（経口剤） （下垂体抑制試験の効能・効果を有する製剤）	デカドロン錠 0.5mg、同錠 4mg	<ul style="list-style-type: none"> ○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH単独欠損症、下垂体抑制試験 ○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛 ○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症 ○ネフローゼ及びネフローゼ症候群 ○うっ血性心不全 ○気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病 ○重症感染症（化学療法と併用する） ○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血 ○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎 ○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む） ○劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの） ○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>症）（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）</p> <p>○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>○抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）</p> <p>○特発性低血糖症</p> <p>○原因不明の発熱</p> <p>○副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲</p> <p>○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○卵管整形術後の癒着防止</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、★乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、★掌蹠膿疱症（重症例に限る）、★扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（★多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、★円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、★紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状剝糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>○嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎</p> <p>○全身性 AL アミロイドーシス</p> <p>★：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
		デカドロネエ リキシル 0.01%	<p>○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH単独欠損症、下垂体抑制試験</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p> <p>○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <p>○ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>○うっ血性心不全</p> <p>○気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病</p> <p>○重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血</p> <p>○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎</p> <p>○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>○劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）</p> <p>○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>○特発性低血糖症</p> <p>○原因不明の発熱</p> <p>○副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲</p> <p>○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○卵管整形術後の癒着防止</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、*乾癬及び類似症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、*掌蹠膿疱症（重症例に</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>限る)、★扁平苔癬(重症例に限る)、成年性浮腫性硬化症、紅斑症(★多形滲出性紅斑、結節性紅斑)(但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)、IgA血管炎(重症例に限る)、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病(眼症状のない場合)、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、★円形脱毛症(悪性型に限る)、天疱瘡群(尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Sencar-Usher症候群、増殖性天疱瘡)、デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む)、先天性表皮水疱症、帯状疱疹(重症例に限る)、★紅皮症(ヘブラ紅色皰糠疹を含む)、顔面播種状粟粒性狼瘡(重症例に限る)、アレルギー性血管炎及びその類症(急性痘瘡様苔癬状皰糠疹を含む)、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法(ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺)、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎)、眼科領域の術後炎症</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動(神経)性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの)</p> <p>○嗅覚障害、急性・慢性(反復性)唾液腺炎</p> <p>★：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
②	デキサメタゾン(経口剤) (下垂体抑制)	レナデックス錠 2mg、同錠 4mg	多発性骨髄腫

No.	一般名	販売名	効能・効果
	試験の効能・効果を有さない製剤)		
③	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤）	デカドロン注射液 1.65mg、同注射液 3.3mg、同注射液 6.6mg	<p>○内分泌疾患</p> <p>慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）〔筋肉内注射〕</p> <p>急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>副腎性器症候群〔*筋肉内注射〕</p> <p>亜急性甲状腺炎〔*筋肉内注射〕</p> <p>甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症〔*筋肉内注射〕</p> <p>特発性低血糖症〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>○リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎</p> <p>関節リウマチ〔筋肉内注射、関節腔内注射〕</p> <p>若年性関節リウマチ（スチル病を含む）〔筋肉内注射、関節腔内注射〕</p> <p>リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>リウマチ性多発筋痛〔筋肉内注射〕</p> <p>強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）〔筋肉内注射〕</p> <p>強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎〔関節腔内注射〕</p> <p>関節周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〕</p> <p>腱炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射〕</p> <p>腱鞘炎（非感染性のものに限る）〔腱鞘内注射〕</p> <p>腱周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〕</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>滑液包炎（非感染性のものに限る）〔滑液嚢内注入〕</p> <p>変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）〔関節腔内注射〕</p> <p>非感染性慢性関節炎〔関節腔内注射〕</p> <p>痛風性関節炎〔関節腔内注射〕</p> <p>○膠原病</p> <p>エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>全身性血管炎（大動脈炎症候群、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、ヴェゲナ肉芽腫症を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>多発性筋炎（皮膚筋炎）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>強皮症〔*筋肉内注射〕</p> <p>○腎疾患</p> <p>ネフローゼ及びネフローゼ症候群〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>○心疾患</p> <p>うっ血性心不全〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>○アレルギー性疾患</p> <p>気管支喘息〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射（但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適當な場合に限る）、ネブライザー〕</p> <p>喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）〔*筋肉内注射、ネブライザー〕</p> <p>喘息発作重積状態〔静脈内注射、点滴静脈内注射〕</p> <p>薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>血清病〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>アナフィラキシーショック [静脈内注射、点滴静脈内注射]</p> <p>○血液疾患</p> <p>紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）[静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）[静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）[静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射] 上記疾患のうち髄膜白血病 [脊髄腔内注入]</p> <p>再生不良性貧血 [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>凝固因子の障害による出血性素因 [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>顆粒球減少症（本態性、続発性）[静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>○消化器疾患</p> <p>潰瘍性大腸炎 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>限局性腸炎 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）[*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>○肝疾患</p> <p>劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）[静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）[*筋肉内注射]</p> <p>○肺疾患</p> <p>びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）[*静脈内注射、点滴静脈内注射、ネブライザー]</p> <p>○重症感染症</p> <p>重症感染症（化学療法と併用する）[静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>○結核性疾患 結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）〔脊髄腔内注入〕 結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）〔胸腔内注入〕</p> <p>○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 重症筋無力症〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 小舞蹈病〔*筋肉内注射〕 顔面神経麻痺〔*筋肉内注射〕 脊髄蜘蛛膜炎〔*筋肉内注射〕</p> <p>○悪性腫瘍 悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 好酸性肉芽腫〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕 乳癌の再発転移〔*筋肉内注射〕</p> <p>○以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 多発性骨髄腫〔点滴静脈内注射〕</p> <p>○抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐） 〔静脈内注射、点滴静脈内注射〕</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>○外科疾患</p> <p>副腎摘除〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕</p> <p>臓器・組織移植〔*筋肉内注射〕</p> <p>侵襲後肺水腫〔静脈内注射、ネブライザー〕</p> <p>副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲〔*筋肉内注射〕</p> <p>外科的ショック及び外科的ショック様状態〔静脈内注射〕</p> <p>脳浮腫〔静脈内注射〕</p> <p>輸血による副作用〔静脈内注射〕</p> <p>気管支痙攣（術中）〔静脈内注射〕</p> <p>蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）〔*筋肉内注射〕</p> <p>手術後の腹膜癒着防止〔腹腔内注入〕</p> <p>○整形外科疾患</p> <p>椎間板ヘルニアにおける神経根炎（根性坐骨神経痛を含む）〔硬膜外注射〕</p> <p>脊髄浮腫〔静脈内注射、硬膜外注射〕</p> <p>○産婦人科疾患</p> <p>卵管整形術後の癒着防止〔*筋肉内注射〕</p> <p>○泌尿器科疾患</p> <p>前立腺癌（他の療法が無効な場合）〔*筋肉内注射〕</p> <p>陰茎硬結〔*筋肉内注射、局所皮内注射〕</p> <p>○皮膚科疾患</p> <p>*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ピダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）[*筋肉内注射、局所皮内注射]</p> <p>*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）[*筋肉内注射、局所皮内注射]</p> <p>蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>上記疾患のうち*尋常性乾癬〔局所皮内注射〕</p> <p>*掌蹠膿疱症（重症例に限る）[*筋肉内注射]</p> <p>*扁平苔癬（重症例に限る）[*筋肉内注射、局所皮内注射]</p> <p>成年性浮腫性硬化症〔*筋肉内注射〕</p> <p>紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）[*筋肉内注射]</p> <p>粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>*円形脱毛症（悪性型に限る）〔局所皮内注射〕</p> <p>天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Sencar-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>帯状疱疹（重症例に限る）[*筋肉内注射]</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>★紅皮症（ヘブラ紅色糠疹を含む）[*点滴静脈内注射、*筋肉内注射] ★早期ケロイド及びケロイド防止 [局所皮内注射] 新生児スクレレーマ [*筋肉内注射] ○眼科疾患 内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）[*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、球後注射、点眼] 外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）[*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、球後注射] 眼科領域の術後炎症 [*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、点眼] ○耳鼻咽喉科疾患 急性・慢性中耳炎 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、中耳腔内注入] 滲出性中耳炎・耳管狭窄症 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、中耳腔内注入、耳管内注入] メニエル病及びメニエル症候群 [静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射] 急性感音性難聴 [静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射] 血管運動（神経）性鼻炎 [筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射] アレルギー性鼻炎 [筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射] 花粉症（枯草熱）[筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射] 副鼻腔炎・鼻茸 [筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、鼻茸内注射] 進行性壊疽性鼻炎 [静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入]</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>喉頭炎・喉頭浮腫〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、喉頭・気管注入〕 喉頭ポリープ・結節〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、ネブライザー、喉頭・気管注入〕 食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、食道注入〕 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、軟組織内注射、局所皮内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、鼻甲介内注射、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、食道注入〕 ○歯科・口腔外科疾患 難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）〔軟組織内注射〕 ＊印：下記の場合にのみ用いること 1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射 経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時 2) 筋肉内注射 経口投与不能時 ★印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
④	デキサメタゾンパルミチン酸エステル	リメタゾン静注 2.5mg	関節リウマチ
⑤	ベタメタゾン（経口剤）	リンデロン錠 0.5mg、同散 0.1%、同シロ	<p>○ 内科・小児科領域 (1) 内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
		<p>ップ 0.01%</p>	<p>甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症、下垂体抑制試験</p> <p>(2) リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p> <p>(3) 膠原病：エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <p>(4) 腎疾患：ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>(5) 心疾患：うっ血性心不全</p> <p>(6) アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病</p> <p>(7) 重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>(8) 血液疾患：溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因</p> <p>(9) 消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎</p> <p>(10) 重症消耗性疾患：重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>(11) 肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>(12) 肺疾患：サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>(13) 結核性疾患（抗結核剤と併用する）：肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）、結核性髄膜炎、結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性心のう炎</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>(14) 神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>(15) 悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>(16) その他の内科的疾患：特発性低血糖症、原因不明の発熱</p> <p>○ 外科領域 副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○ 整形外科領域 強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○ 産婦人科領域 卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害</p> <p>○ 泌尿器科領域 前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○ 皮膚科領域 △印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること △湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果
			<p>鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、△類乾癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色粧糠疹（重症例に限る）、△扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、△円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、△紅皮症（ヘブラ紅色粧糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粧糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○ 眼科領域</p> <p>内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○ 耳鼻咽喉科領域</p> <p>急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術</p>

No.	一般名	販売名	効能・効果																																						
			後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）、嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎																																						
⑥	ベタメタゾン （坐剤）	リンデロン坐 剤 0.5mg、同 坐剤 1.0mg	潰瘍性大腸炎（直腸炎型）																																						
⑦	ベタメタゾン リン酸エステル ナトリウム （注射剤）	リンデロン注 2mg（0.4%）、 同注 4mg （0.4%）	<p>☆印の付されている投与法は以下のような条件でのみ使用できる。（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること。）</p> <p>（1）静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時</p> <p>（2）筋肉内注射：経口投与不能時</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">効能・効果</th> <th style="width: 10%;">静脈内 注射</th> <th style="width: 10%;">点滴 静脈内 注射</th> <th style="width: 10%;">筋肉内 注射</th> <th style="width: 10%;">その他の用法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 内科・小児科領域</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 内分泌疾患</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリー</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○☆</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				効能・効果	静脈内 注射	点滴 静脈内 注射	筋肉内 注射	その他の用法	1. 内科・小児科領域					(1) 内分泌疾患					慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）			○		急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）	○	○	○		副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症			○☆		甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリー	○	○	○☆	
効能・効果	静脈内 注射	点滴 静脈内 注射	筋肉内 注射	その他の用法																																					
1. 内科・小児科領域																																									
(1) 内分泌疾患																																									
慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）			○																																						
急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）	○	○	○																																						
副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症			○☆																																						
甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリー	○	○	○☆																																						

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			ゼ]				
			(2) リウマチ疾患				
			関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）			○	関節腔内注射
			リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）	○☆	○☆	○	
			リウマチ性多発筋痛			○	
			(3) 膠原病				
			エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）	○☆	○☆	○	
			強皮症			○☆	
			(4) 腎疾患				
			ネフローゼ及びネフローゼ症候群	○☆	○☆	○☆	
			(5) 心疾患				
			うっ血性心不全	○☆	○☆	○☆	
			(6) アレルギー性疾患				
			気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投	○	○	○	ネブライザー

No.	一般名	販売名	効能・効果					
			与法では不適當な場合に限る)					
			喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む)			○☆		ネブライザー
			喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック	○	○			
			薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹、中毒疹を含む)	○☆	○☆	○☆		
			血清病	○	○	○☆		
			(7) 重症感染症					
			重症感染症(化学療法と併用する)	○	○	○☆		
			(8) 血液疾患					
			溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)、白血病(急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)、顆粒球減少症(本態性、続発性)、紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因	○	○	○☆		
			髄膜白血病					脊髄腔内注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			(9) 消化器疾患				
			限局性腸炎、潰瘍性大腸炎	○☆	○☆	○☆	注腸
			(10) 重症消耗性疾患				
			重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期、スプルーを含む)	○☆	○☆	○☆	
			(11) 肝疾患				
			劇症肝炎(臨床的に重症とみなされるものを含む)	○	○	○☆	
			胆汁うっ滞型急性肝炎		○☆	○☆	
			肝硬変(活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの)			○☆	
			(12) 肺疾患				
			びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を含む)	○☆	○☆		ネブライザー
			(13) 結核性疾患(抗結核剤と併用する)				
			結核性髄膜炎				脊髄腔内注入
			結核性胸膜炎				胸腔内注入
			(14) 神経疾患				
			脳脊髄炎(脳炎、脊髄炎を含む)(但し、	○	○	○☆	脊髄腔内注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）				
			末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）	○☆	○☆	○☆	脊髄腔内注入
			小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎			○☆	
			(15) 悪性腫瘍				
			悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
			好酸性肉芽腫	○	○	○☆	
			乳癌の再発転移			○☆	
			(16) その他の内科的疾患				
			特発性低血糖症	○	○	○☆	
			原因不明の発熱			○☆	
			2. 外科領域				
			副腎摘除	○	○	○	
			臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者			○☆	

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）				
			侵襲後肺水腫	○			ネブライザー
			外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）	○			
			3. 整形外科領域				
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）			○	
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎				関節腔内注射
			関節周囲炎（非感染性のものに限る）、 腱周囲炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射 滑液嚢内注入
			腱炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射
			腱鞘炎（非感染性のものに限る）				腱鞘内注射
			滑液包炎（非感染性のものに限る）				滑液嚢内注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			4. 産婦人科領域				
				卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法			卵管腔内注入
				卵管整形術後の癒着防止		○☆	卵管腔内注入
				副腎皮質機能障害による排卵障害		○☆	
				早産が予期される場合における、母体投与による胎児肺成熟を介した新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制		○	
			5. 泌尿器科領域				
				前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結		○☆	
			6. 皮膚科領域				
				△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。 △湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌		○☆	

No.	一般名	販売名	効能・効果					
			<p>角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、△類乾癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色粧糠疹（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、レイノー病、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p>					
			<p>蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、</p>		○☆	○☆		

No.	一般名	販売名	効能・効果					
				粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Sencar-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、△紅皮症（ヘブラ紅色秕糠疹を含む）				
			7. 眼科領域					
				内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射 点眼
				外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射
				眼科領域の術後炎症	○☆		○☆	結膜下注射 点眼
			8. 耳鼻咽喉科領域					

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			急性・慢性中耳炎	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入
			滲出性中耳炎・耳管狭窄症	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入 耳管内注入
			メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法	○	○	○	
			血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）			○	ネブライザー 鼻腔内注入 鼻甲介内注射
			副鼻腔炎・鼻茸			○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻茸内注射
			進行性壊疽性鼻炎	○	○	○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 喉頭・気管注入
			喉頭炎・喉頭浮腫	○	○	○	ネブライザー 喉頭・気管注入
			喉頭ポリープ・結節	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 喉頭・気管注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後	○	○	○	ネブライザー 食道注入
			耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	○	○	○	軟組織内注射 ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻甲介内注射 喉頭・気管注入 中耳腔内注入 食道注入
			難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）				軟組織内注射
			嗅覚障害	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 鼻腔内注入
			急性・慢性（反復性）唾液腺炎	○☆	○☆	○☆	唾液腺管内注入
		リンデロン注 20mg（0.4%）	☆印の付されている投与法は以下のような条件でのみ使用できる。（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること。） (1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時 (2) 筋肉内注射：経口投与不能時				
			効能・効果	静脈内	点滴	筋肉内	その他の用法

No.	一般名	販売名	効能・効果				
				注射	静脈内 注射	注射	
			1. 内科・小児科領域				
			(1) 内分泌疾患				
			慢性副腎皮質機能不全(原発性、続発性、下垂体性、医原性)			○	
			急性副腎皮質機能不全(副腎クライゼ)	○	○	○	
			副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症			○☆	
			甲状腺中毒症〔甲状腺(中毒性)クライゼ〕	○	○	○☆	
			(2) リウマチ疾患				
			関節リウマチ、若年性関節リウマチ(スチル病を含む)			○	関節腔内注射
			リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)	○☆	○☆	○	
			リウマチ性多発筋痛			○	
			(3) 膠原病				
			エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)、全身性血管炎(高安動脈炎、結節	○☆	○☆	○	

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む)、多発性筋炎(皮膚筋炎)				
			強皮症			○☆	
			(4) 腎疾患				
			ネフローゼ及びネフローゼ症候群	○☆	○☆	○☆	
			(5) 心疾患				
			うっ血性心不全	○☆	○☆	○☆	
			(6) アレルギー性疾患				
			気管支喘息(但し、筋肉内注射は他の投与方法では不適當な場合に限る)	○	○	○	ネブライザー
			喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む)			○☆	ネブライザー
			喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック	○	○		
			薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹、中毒疹を含む)	○☆	○☆	○☆	
			血清病	○	○	○☆	
			(7) 重症感染症				

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			重症感染症（化学療法と併用する）	○	○	○☆	
			(8) 血液疾患				
			溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因	○	○	○☆	
			髄膜白血病				脊髄腔内注入
			(9) 消化器疾患				
			限局性腸炎、潰瘍性大腸炎	○☆	○☆	○☆	注腸
			(10) 重症消耗性疾患				
			重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）	○☆	○☆	○☆	
			(11) 肝疾患				
			劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）	○	○	○☆	
			胆汁うっ滞型急性肝炎		○☆	○☆	

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			肝硬変(活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの)			○☆	
			(12) 肺疾患				
			びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を含む)	○☆	○☆		ネブライザー
			(13) 結核性疾患(抗結核剤と併用する)				
			結核性髄膜炎				脊髄腔内注入
			結核性胸膜炎				胸腔内注入
			(14) 神経疾患				
			脳脊髄炎(脳炎、脊髄炎を含む)(但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)、重症筋無力症、多発性硬化症(視束脊髄炎を含む)	○	○	○☆	脊髄腔内注入
			末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)	○☆	○☆	○☆	脊髄腔内注入
			小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎			○☆	
			(15) 悪性腫瘍				
			悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫)	○	○	○☆	脊髄腔内注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）				
			好酸性肉芽腫	○	○	○☆	
			乳癌の再発転移			○☆	
			(16) その他の内科的疾患				
			特発性低血糖症	○	○	○☆	
			原因不明の発熱			○☆	
			2. 外科領域				
			副腎摘除	○	○	○	
			臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）			○☆	
			侵襲後肺水腫	○			ネブライザー
			外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）	○			
			3. 整形外科領域				
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）			○	
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴				関節腔内注射

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎				
			関節周囲炎（非感染性のものに限る）、 腱周囲炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射 滑液嚢内注入
			腱炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射
			腱鞘炎（非感染性のものに限る）				腱鞘内注射
			滑液包炎（非感染性のものに限る）				滑液嚢内注入
			4. 産婦人科領域				
			卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法				卵管腔内注入
			卵管整形術後の癒着防止				○☆ 卵管腔内注入
			副腎皮質機能障害による排卵障害				○☆
			5. 泌尿器科領域				
			前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結				○☆
			6. 皮膚科領域				

No.	一般名	販売名	効能・効果						
				<p>△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。</p> <p>△湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、△類乾癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色秕糠疹（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、レイノー病、先天性表皮</p>			○☆		

No.	一般名	販売名	効能・効果						
				水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ					
				蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮膚症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、△紅皮症（ヘブラ紅色秕糠疹を含む）	○☆	○☆			
			7. 眼科領域						
				内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射	

No.	一般名	販売名	効能・効果				
			網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺)				点眼
			外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射
			眼科領域の術後炎症	○☆		○☆	結膜下注射 点眼
			8. 耳鼻咽喉科領域				
			急性・慢性中耳炎	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入
			滲出性中耳炎・耳管狭窄症	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入 耳管内注入
			メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法	○	○	○	
			血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）			○	ネブライザー 鼻腔内注入 鼻甲介内注射
			副鼻腔炎・鼻茸			○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入

No.	一般名	販売名	効能・効果				
							鼻茸内注射
			進行性壊疽性鼻炎	○	○	○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 喉頭・気管注入
			喉頭炎・喉頭浮腫	○	○	○	ネブライザー 喉頭・気管注入
			喉頭ポリープ・結節	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 喉頭・気管注入
			食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後	○	○	○	ネブライザー 食道注入
			耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	○	○	○	軟組織内注射 ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻甲介内注射 喉頭・気管注入 中耳腔内注入 食道注入
			難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）				軟組織内注射

No.	一般名	販売名	効能・効果											
						嗅覚障害	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 鼻腔内注入				
			急性・慢性（反復性）唾液腺炎	○☆	○☆	○☆	唾液腺管内注 入							
		リンデロン 20mg(2%)、同 注 100mg (2%)	出血性ショックにおける救急、又は術中・術後のショック											
⑧	ベタメタゾン リン酸エステ ルナトリウム (注腸剤)	ステロネマ注 腸 3mg、同注 腸 1.5mg	限局性腸炎、潰瘍性大腸炎											
⑨	ベタメタゾン 酢酸エステ ル・ベタメタ ゾンリン酸エ ステルナトリ ウム	リンデロン懸 濁注	効能・効果\用法				筋 肉 内 注 射	関 節 腔 内 注 射	軟 組 織 内 注 射	腱 鞘 内 注 射	滑 液 囊 内 注 入	局 所 皮 内 注 射	鼻 腔 内 注 入	鼻 甲 介 内 注 射
			関節リウマチ					○						
			関節周囲炎（非感染性のものに限る）						○	○	○			

No.	一般名	販売名	効能・効果										
			腱炎（非感染性のものに限る）			○	○						
			腱鞘炎（非感染性のものに限る）				○						
			腱周囲炎（非感染性のものに限る）			○	○	○					
			滑液包炎（非感染性のものに限る）					○					
			変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）		○								
			外傷後関節炎		○								
			△円形脱毛症（悪性型に限る）							○			
			△早期ケロイド及びケロイド防止							○			
			アレルギー性鼻炎	○								○	○
			△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること										
⑩	ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	セレスタミン配合錠、同配合シロップ	蕁麻疹（慢性例を除く）、湿疹・皮膚炎群の急性期及び急性増悪期、薬疹、アレルギー性鼻炎										